

4人家族？ あんなに先生いるのに

かわいい勘違いにキュン

保育施設や幼稚園で先生たちが聞いた、印象的な子どもの言葉を紹介します。「こどもの詩」の特別編です。子どもは、かわいい勘違いをふりまきながら育っていきます。

バスの中の会話。

女児「○○ちゃん、5人家族やねん。先生は何人家族？」
保育者「4人家族やで」
女児「え？ あんなに先生いるのに……」

（京都府宇治市・広野幼稚園、5歳児クラス）

「先生はみんな家族と違って、いるのでしょ」と保育者。

クラスでリレー。

保育者（速く走るために）

「手を振って走るんだよ」

男児「バイバイ」と、笑顔

で手を振って走っていた。

（同、4歳児クラス）

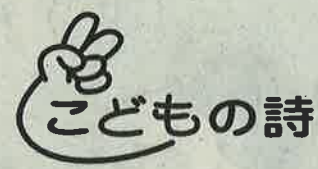
園庭で夏野菜を栽培している

男児「あやいな〜（速いな〜）、あやいな〜」

別の男児（壁のグリラの写真を指して）「いっしょやね〜、いっしょやね〜」

（京都市・朱い実保育園、1歳）

「しばらく理解できませんでした」と添え書き。あやいな〜アイアイ（猿）ね〜グリラという流れらしい。「しゃべり出したばかりの子の言葉は難解だけと面白い。保育士、楽しすぎてやめられません」



せんせいから

ある日のランチルームで。

男児「先生、今日の給食なに？」

保育者「今日はみんなが収穫してくれたオクラの料理と、お魚の焼いたんやで〜」

男児「わーい！ 魚も先生釣ってきたやつなん？」

（和歌山県美浜町・こじか保育園、4歳）

園児がおもちゃの電車で遊んでいた。

男児「何だろうね」（ピーマンとは言えない、知らずに食べている子もいるし）

男児「給食の先生に聞いてこよう」（走って行った後）

男児「赤ピーマンやった。やっぱり給食の先生、知ってた」

（富山県入善町の元保育士の経験から、3歳）

ある晴れた日に、水書想定した避難訓練を実施。

保育士「お外は大雨です。お水が危ないので、みんなでお二階に逃げますよ」

男児「せんせ〜、おそと、あめふつてないよ。ほらっ」

（茨城県北茨城市・あかねミライ園、2歳）

給食の献立はサケのムニエル。上に赤いものが……。

男児「これ何？ トマト？ ソーセージ？」

保育士「何だろうね」（ピーマンとは言えない、知らずに食べている子もいるし）

男児「給食の先生に聞いてこよう」（走って行った後）

男児「赤ピーマンやった。やっぱり給食の先生、知ってた」

（富山県入善町の元保育士の経験から、3歳）

「こどもの詩 せんせいから」募集

保育施設や幼稚園から、子どもの印象的な発言を募集します。保育士らと子ども、あるいは子ども同士のやりとりをお寄せください。

子どもは匿名可。性別、年齢か年少、年中、年長といったクラス、保育施設や幼稚園の名称、連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）、担当者のお名前を明記。状況の説明も簡単に添えてください。

送り先は、〒100・8055読売新聞東京本社生活部「こどもの詩 せんせいから」係。メール(kurashi@yomiuri.com)でも受け付けます。

月1回、作品をまとめて紹介する予定です。



こころに花がさいているみたい

デザイン部 滝沢南実

給食栄養士のトレーナーの胸元に花束がプリントされているのを見て。
男児「こころに花がさいているみたい」

（長野県飯田市・飯田ル